

○議長(杉田雅史君) ただいまの出席議員数は7人です。定足数に達しておりますので、休憩前に引き続き会議を開きます。

3番 加藤智恵子君。

○3番(加藤智恵子君) 3番加藤智恵子です。公共施設のバリアフリーについて、2点質問させていただきます。

我が国は速いスピードで高齢化が進んでおり、本村も例外ではありません。本村ではお年寄りや障害のある人が円滑に移動できるよう、公共施設のバリアフリー化について順次対応が進められており、村議会の一般質問などでも度々取り上げられているところです。

今年3月の定例会では、公共施設等の状況を再点検して、社会生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策に努め、バリアフリーやユニバーサルデザイン等に配慮した、誰もが使いやすい施設整備を進めるとの答弁がありました。実際に手すりの設置やトイレの改修などが順次進められており、心強く思っているところで

す。

そこで、提案があります。

まず初めに、誰もが使いやすい施設整備として、役場に入るときのスリッパの履き替えを廃止していただきたいと思います。

履き替えることをバリアとして捉え、そのバリアを除去して、履き替えなしでそのまま入るという環境整備をしていただきたいと思います。

その主な理由として、1つ、高齢者は身体機能の低下があり、スリッパに履き替えるときなど、前かがみの姿勢になるため、体のバランスを崩しやすいこと。2つ、スリッパは歩きにくく、転倒につながる可能性があること。さらに、緊急避難時の履物としては不適切であること。3つ、視覚障害者にとってスリッパの存在が分かりにくいこと。4つ、車椅子の方は室内用の車椅子に乗り換えが必要になり、一連の動作が負担になっていること。5つ、子育て世代の皆さんからは、ベビーカーで入れないため、子どもを抱っこしないといけないこと。6つ、衛生面からスリッパへの履き替えに抵抗があるとの声が上がっていることなどが挙げられます。

本村では、乳幼児の子育て世帯の転入者が多いことや、今後急速に高齢者の増加が予測されており、このような時代のニーズに対応することも必要であると考えます。スリッパの履き替えに関して、役場内の様々な事情やこれまでの経緯もあるとは思いますが、

スリッパ廃止を時代のニーズとして捉え、誰もが使いやすい役場になるように環境整備をしていただきたいと思います。当局のお考えをお聞かせください。

また、このような住民の皆さんからの要望は、役場庁舎だけでなく、ほかの公共施設に対しても上がっていますので、併せて当局のお考えをお聞かせください。

次に、舟橋駅周辺のバリアフリーについてです。

改正バリアフリー法が今年4月1日に施行され、国はお年寄りや障害のある人が円滑に移動できるよう、スロープの整備などに力を入れることとしています。

視覚障害者の皆さんは、僅かの段差でも転倒して大けがや骨折したり、つまずいて転倒しそうになり、怖い思いをしたという経験を話されます。

そこで、改正バリアフリー法の趣旨にのっとり、本村でもお年寄りや視覚障害者の皆さんが安心して駅や図書館を利用できるよう、駅舎正面の段差の解消、図書館や公衆トイレへの視覚障害者用誘導ブロックの設置を提案します。当局の考えをお聞かせください。

以上で質問を終わります。

よろしく申し上げます。

○議長（杉田雅史君） 総務課長 松本良樹君。

○総務課長（松本良樹君） 3番加藤議員さんの、公共施設のバリアフリーについての質問にお答えします。

まず、役場玄関先でのスリッパ履き替えについてお答えします。

議員さんご指摘のとおり、庁舎内の汚れを防ぐため、来庁されるお客様には玄関でスリッパに履き替えていただいております。以前は、庁舎前駐車場は未舗装で砂利の状態でありました。泥や砂等で汚れた外履きのまま来庁されますことを防ぐため、玄関で履き替えをお願いしていたところでもあります。ご承知のとおり、現在では庁舎前駐車場も舗装されており、外履きで汚れるといったことは、従来に比べますと減っております。

ご指摘のとおり、玄関でスリッパに履き替えることでお客様にご不便をおかけしている点は当方も認識してございます。スリッパ等内履きに履き替えることなく来庁いただけるよう検討してまいりたいと考えておりますが、そのためには庁舎の構造上の課題を解消する必要がございます。

ご承知のとおり、1階の廊下は石張りになってございますけれども、2階以上の床は主にカーペット仕上げとなっております。各部屋の利用形態等についても精査し、庁舎

全体での改修工事が必要となってまいりますので、皆様のご意見を参考にしながら検討を進めてまいりたいと考えております。ご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。

舟橋会館につきましても、同様であります。図書館につきましては、開館当初からのコンセプトとして、1階では、子どもたちが寝転んだりして漫画を読むことで、よりくつろいだ環境を提供しております。そのため床暖房等も整備しておりますので、この点についてはご理解を賜りますよう、お願いいたします。

次に、舟橋駅周辺のバリアフリーについてお答えします。

建物の構図上の問題から、駅舎正面の段差をなくすことは困難だと考えており、それを補完するため、駅舎及び公衆トイレにはスロープを設置してございます。しかしながら、歩道から各スロープまでの区間には視覚障害者用誘導ブロックがございませんので、設置に向けて検討してまいりたいというふうに考えております。

いずれにいたしましても、今後も、誰もが格差なく利用しやすい施設整備に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いをいたしまして、答弁いたします。